



## 音楽会へのご参会ありがとうございました

11月16日・17日の2日間で音楽会を開催し、920名もの来賓・保護者・地域の皆様に鑑賞していただき感謝申し上げます。学年が一つになって合唱・合奏することは特別のことがない限りありません。この音楽会を通して、一人一人が自分のパートを責任もって出来るようになりやり通すこと、友達の音を聞いて合わせること、それらが合わさってみんなの音になることなど、多くのことを学ぶことができました。また、やりきった中でもらった大きな拍手で、子どもたちの自己肯定感は高まったことと思います。一人一人が輝いた音楽会となりました。いただいたアンケートの中にも、練習から本番に至るまでの子どもの成長のことや子どもたちが一生懸命に取り組んでいる姿から感動したとたくさんの声をいただきました。

また、この音楽会を少しでも良い環境でとの思いで、多くの保護者の方が校庭の落ち葉拾いをしてくださいました。感謝申し上げます。

## 一人一人が大切な存在

この間の全校朝会で「アンパンマン」の主題歌の話をしました。ご存じの通り原作者は漫画家のやなせたかし氏です。94歳で亡くなるまで現役の作家として活躍されました。日本漫画家協会の会長でもありました。同番組に登場するキャラクターの数はギネス認定だということでした。

さて、なぜこの話をしたかという、東日本大震災で避難生活を余儀なくされていた方が、ラジオから「アンパンマンのマーチ」が流れ、その歌詞に感動し勇気をもったという記事を読んだからです。改めて歌詞の内容を見てみると、そこに深い思いを込められていることに気がきました。戦争を体験したやなせ氏にとって、命より尊いものはない、一人一人の命の輝きを大切にしたい、そして、互いの良さを認め合い、尊重し合ってほしいという願いをもっておられたのではないかと感じました。

○忘れないで夢を こぼさないでなみだ  
だから君は とぶんだどこまでも  
○そうだ 嬉しいんだ生きる喜び たとえ  
胸の傷が いたんでも

「何のために生まれて 何をして生きるのか 答えられないなんて そんなのはいやだ」

そのため、この歌詞を紹介し、一人一人が大切な存在であること、音楽会で身に付けた力や自分の良さを発揮して学校生活を送ってほしいと言うことを伝えました。

さて、そのやなせ氏は、漫画家として有名ですが、「手のひらを太陽に」の作詞者としても知られています。「天使のパンツ」「夕やけに拍手」「勇気之歌」など、多くの歌で子どもたちの心を勇気付けたり、癒やしたりしてきました。嬉しい時、楽しい時、悲しい時、苦しい時、これらの詩に励まされた人もいることでしょう。

「手のひらを太陽に」の歌詞は、「ぼくらはみんな生きている」から始まります。この歌は、みんなが生きているということを歌い、さらにお互いを信頼し協力することで、みんなで生きるという双方の意味が込められているように感じます。

中小の校庭には、様々な木々が植えられ、鳥や虫もいます。これらの生き物は、個々に生きながらも、生態系という繋がりの中で関連性をもって生きています。全ての生き物が共に生きているという実感をもって見つめることができる心の余裕をもちたいものです。

今年も多くの方から、本校の教育についてご理解とご協力を賜りましたこと深く感謝申し上げます。